

けんこうだより

マダニに注意しましょう

昨年、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者が福岡県内で初めて確認されました。この病気はウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するとされています(注:すべてのマダニがウイルスを持っているわけではありません)。有効なワクチンはないため、感染予防のためにはマダニに咬まれないようにすることが重要です。

このほかにダニの媒介する感染症としては、日本紅斑熱やライム病が知られています。

SFTSの主な症状

潜伏期間:6日~2週間
発熱、おう吐、下痢など。重症化するとリンパ節の腫れや出血症状などを起こします。

マダニとは

食品や衣類や寝具に発生するダニとは種類が異なり、固い外皮に覆われた比較的大型のダニで、シカやイノシシなど野生動物が生息する場所のほか、草むらや藪などにも生息しています。動物が通りかかるのを待ち伏せし、吸血すると10~15ミリメートルになります。マダニの活動は、春から秋にかけて活発になるので、肌の露出が多くなる季節は特に注意が必要です。

マダニに咬まれないために

- (1) 草むらや藪などに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- (2) 肌が出る部分には防虫スプレーを噴霧すると効果的です。
- (3) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認してください(痛み、かゆみは、あまりありません)。

マダニに咬まれていたら受診しましょう

吸血中のマダニに気付いたときは、自分で取ろうとせず、医療機関(皮膚科)で処置しましょう。
マダニに咬まれた後に発熱などの症状があった場合は、医療機関で受診してください。

詳しい情報は
【福岡県ホームページ】
「マダニによる感染症に注意しましょう」
【厚生労働省ホームページ】
「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について」
【国立感染症研究所ホームページ】
「マダニ対策、今できること」

蚊媒介感染症について

主な蚊媒介感染症であるデング熱、チクングニア熱およびジカウイルス感染症は、ともに、発熱と全身の発疹を特徴とし、同じ種類の蚊によって媒介される感染症です。いずれもアフリカを起源としていますが、近年では、アジア、中南米を中心に流行しています。おもに海外からの輸入感染症としてみられていたデング熱に関しては、2014年に国内感染例が報告されました。いずれも国内においては有効なワクチンが存在せず、予防には蚊に刺されないようにする防蚊対策が有効です。

デング熱の主な症状

潜伏期間:3~7日(最大期間2~14日)
急激な発熱、発疹、頭痛、関節痛、吐き気、おう吐など。通常は発熱後2~7日で解熱します。

チクングニア熱の主な症状

潜伏期間:2~12日(多くは3~7日)
発熱および関節痛、全身倦怠感、リンパ節腫脹、頭痛、筋肉痛、発疹、関節炎、悪心・おう吐
ほとんどの症状は3~10日消失。関節炎は数週間から数か月持続する場合があります。

ジカウイルス感染症の主な症状

潜伏期間:2~13日(多くは2~7日)
発熱を呈するのは6割前後に過ぎず、斑状丘疹様の発疹が多く見られます。
大半は軽症で自然軽快します。
母体から胎児への垂直感染により小頭症などの先天異常をきたす場合があります。

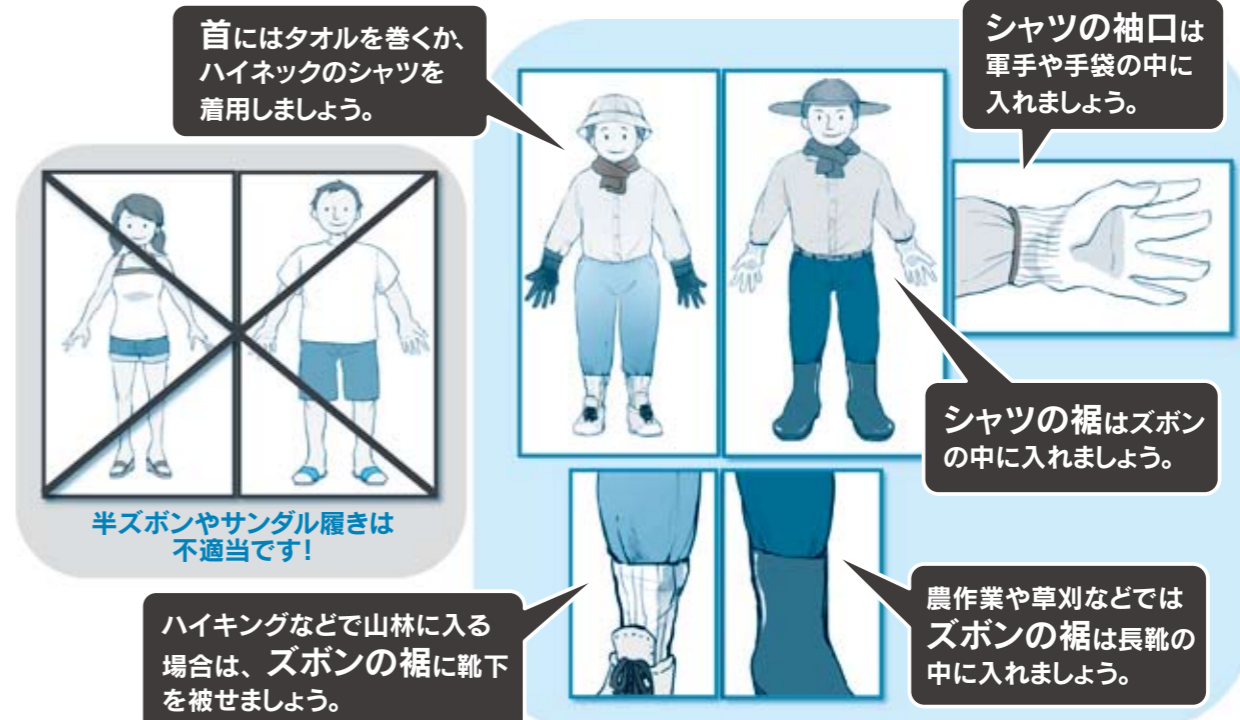
予防法

- (1) やぶ蚊が発生しない環境をつくる
 - ・ボウフラの発生するような水たまりをつくらない(雨水マス、空き缶、古タイヤなど)。
 - ・人が集まる場所は草刈りを行うなどして風通しを良くし、日光が当たるようにしましょう。
- (2) 蚊に刺されないようにする(個人防衛)
 - ・屋外で活動するときは長袖、長ズボン、靴を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
 - ・素足でのサンダル履きを避けましょう。
 - ・肌が出る部分には防虫スプレーを噴霧すると効果的です。

詳しい情報は
【厚生労働省ホームページ】
「デング熱について」
「デング熱に関するQ & A」
「ジカウイルス感染症に関するQ & A」

マダニや蚊から身を守る服装

野外では、腕・足・首など肌の露出を少なくしましょう!



みなさんの身近に咲いていませんか?

厚生労働省では、5月1日~6月30日までの2か月間、不正大麻・けし撲滅運動を実施し、大麻や植えてはいけないけしの発見や除去、大麻やけしに関する正しい知識の普及・広報啓発の取組を全国的に展開しています。
健康づくり課でも町内に自生する不正けしを伐採する作業を毎年行っています。不正なけしは、4月下旬から5月中旬にかけて美しい花を咲かせます。
誰かが栽培したのではなく、みなさんの身近な場所にも自生しています。写真のようなけしを見かけたら伐採をお願いします。

植えてはいけないけしの特徴

- ◎花びらは4枚、色は薄紫や赤
- ◎開花期の草丈は50~100cm
- ◎葉、茎、つぼみなどの外観は緑色で、よく枝分かれ(分岐)している
- ◎つぼみの表面やつぼみの中の茎(花梗)には毛がある
- ◎葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、その基部は茎を包み込むような形をしている



植えてはいけないけし



植えてよいけし

問い合わせ

健康づくり課 健康推進係 ☎933-0777